

石神中学校だより

第9号

発行日：平成29年11月29日（水）



【教育目標】

- ・自ら学習する生徒
- ・正しく判断できる生徒
- ・健やかな生徒

発行者 校長 高橋知宏

平成29年度 石神中学校文化祭大成功！

すでに本校ホームページで報告させていただきましたとおり、10月28日（土）、校内文化祭が開催され、大いに盛り上がりしました。当日は、来賓の方々や保護者の皆様に、生徒達の生き生きとした活動の様子を見ていただくことができました。本号では、皆をまとめ文化祭を成功に導いた実行委員長、ビッグアート係長のことばをとおして生徒達が文化祭に込めた思いをお届けします。

◆実行委員長あいさつ（抜粋）

生徒の皆さんは、各係活動や合唱練習など、今日のために遅くまで一生懸命準備してきました。その中で、意見が合わず対立したこともあったでしょう。何をどうしていいかわからず、立ち止まってしまったこともあったかも知れません。でも、今日の文化祭をよりよいものに仕上げるために、協力して取り組んできたことは、きっと皆さんにとって大きな財産になるものと思います。この日のために頑張ってきたことに自信をもって、今日一日を過ごしてください。

ご来賓の皆様。今日は、お忙しい中、この石神中学校文化祭に足を運んでくださり、ありがとうございます。石中生全員で作り上げた文化祭を温かく見守ってください。そして、一緒に楽しんでいただけたら幸いです。

保護者の皆様。僕達のことを、陰ながら支えてくださり、ありがとうございます。家族の支えがなければ、今日の日を迎えることはできませんでした。本当にありがとうございました。今日は、一緒に楽しみましょう！

最後に、会場の皆さん。「はっちゃけろ」のテーマの下、はっちゃけてください！ただし、お願いがあります。危険なこと、やってはいけないことなど、最低限のルールは守って最高の文化祭にしましょう！！



◆ビッグアート係長あいさつ（抜粋）

ビッグアート係長 石田 未琴

みなさんのおかげで、素晴らしい大壁画が完成しました。今年度は、ビッグアートのデザインから私たちが携わりました。自分たちがデザインした壁画がうまくできるのか毎日ドキドキしながら作業を行ってきました。これらの作業は3週間前から行い、土日も学校に集まり、色画用紙を約24万枚に切断したり、一枚一枚のボール紙の確認をしたり、修正作業を行ったりと、それは気が遠くなるような作業でした。石中生253名と先生方とで力を結集した、その成果をご覧ください！



今年度文化祭のテーマ「Haccha Kero! 僕らの思いは雲をも超える」に基づき、今まで私たちが築き上げてきた石神魂の一コマコマ —— 楽しみながら笑顔で何事にもおそれずにたくさんの事に挑戦していく姿をイメージしています。

一人一人の力を結集させ、完成させたこのビッグアートは、物事を投げ出さず、あきらめずに頑張れば、私たちは素晴らしい力を発揮することができるということを証明しています。今日に辿り着く昨日までの準備で感じたこと、また、今日、文化祭で感じたことをこれからの自分に役立てていきましょう。これが私たちビッグアート係からのメッセージです！

学びのスタンダード石神ブロック推進地域授業研究会

11月17日（金）、相双地区の約80名の先生方にお越しいただき、社会、理科、英語の授業を参観していただきました。どの授業でも生徒達はグループでお互いの考えを積極的に交流させ、練り上げ、発表し、学びを深めていました。また、授業後の分科会では、授業のねらいにせまるてだての有効性や改善点について話し合い、浪江中学校長 笠井淳一様、相双教育事務所 主任指導主事 小林正和様、指導主事 安良公広様、志賀嘉津美様、星由紀枝様より授業改善に向けた指導助言をいただきました。

福島大学准教授 宗形潤子様による講演では、石神ブロックの取組を踏まえ、これからの学びの方向性や教師に求められることについてご示唆をいただきました。今後、さらに石神ブロックの児童生徒の学力向上のための研究実践を積み重ねていきたいと思っています。



